



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 リンテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7966 URL <http://www.lintec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 弘之

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 小川 純一

TEL 03-5248-7713

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	60,705	25.4	4,960	33.3	4,798	70.3	2,715	28.6
29年3月期第1四半期	48,415	7.9	3,721	24.9	2,817	44.4	2,112	41.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,109百万円 (%) 29年3月期第1四半期 573百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	37.64	37.58
29年3月期第1四半期	29.28	29.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	270,053	177,419	65.4
29年3月期	274,199	178,690	64.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 176,644百万円 29年3月期 177,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		33.00		33.00	66.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		33.00		33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	21.4	20,000	20.5	19,500	24.3	13,500	17.9	187.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	76,564,240 株	29年3月期	76,564,240 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	4,412,583 株	29年3月期	4,412,515 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	72,151,696 株	29年3月期1Q	72,152,688 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料は、本日、当社ホームページ(<http://www.lintec.co.jp>)に掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では堅調な個人消費を背景に景気拡大基調が持続し、欧州においても緩やかながら景気回復が続きました。中国では各種政策効果もあり景気回復の兆しが見られました。一方、我が国においては、好調な外需に支えられ企業収益が改善したことに加え、個人消費も緩やかに持ち直しているなど、総じて堅調に推移しました。

このような経営環境の中、当社グループでは新中期経営計画「LIP-2019」を今年4月からスタートさせ、「イノベーションをさらに深化させ、新たな成長にチャレンジ」という基本方針の下、重点テーマに積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は60,705百万円（前年同期比25.4%増）、営業利益は4,960百万円（同33.3%増）、経常利益は4,798百万円（同70.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,715百万円（同28.6%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

【印刷材・産業工材関連】

当セグメントの売上高は30,136百万円（前年同期比46.8%増）、営業利益は688百万円（同6.8%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

(印刷・情報材事業部門)

シール・ラベル用粘着製品は、国内では食品関連が低調であったものの、日用品、医薬関連が堅調に推移しました。海外では中国、アセアン地域において堅調であったほか、昨年末に買収した欧米子会社の売り上げが加わりました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

(産業工材事業部門)

二輪を含む自動車用粘着製品は前年同期並みで推移したほか、昨年末に買収した欧米子会社の売り上げが加わりました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

【電子・光学関連】

当セグメントの売上高は21,034百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は2,826百万円（同44.8%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

(アドバンストマテリアلز事業部門)

半導体関連粘着テープおよび関連装置は、スマートフォン用などの需要が好調であったことにより大幅に増加しました。また、積層セラミックコンデンサ関連テープについても、スマートフォン用や自動車用などの需要が好調であったことにより増加しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

(オプティカル材事業部門)

液晶ディスプレイ関連粘着製品は、中小型用は堅調に推移したものの、大型テレビ用が需要低迷の影響を受け低調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ減少となりました。

【洋紙・加工材関連】

当セグメントの売上高は9,534百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は1,452百万円（同33.6%増）となりました。当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

(洋紙事業部門)

主力のカラー封筒用紙は前年同期並みであったものの、工業用特殊紙や耐油紙などが堅調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

(加工材事業部門)

炭素繊維複合材料用工程紙は前年同期並みであったものの、FPCカバーレイ用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルムなどが順調に推移しました。この結果、当事業部門は前年同期に比べ増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は270,053百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,145百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- | | |
|--------------|-----------|
| ・「有形固定資産」の減少 | △1,099百万円 |
| ・「のれん」の減少 | △2,017百万円 |

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は92,634百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,874百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- | | |
|--------------|-----------|
| ・「短期借入金」の増加 | 1,388百万円 |
| ・「未払法人税等」の減少 | △1,467百万円 |
| ・「長期借入金」の減少 | △1,552百万円 |

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は177,419百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,271百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- | | |
|----------------|-----------|
| ・「為替換算調整勘定」の減少 | △1,352百万円 |
|----------------|-----------|

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、米国連結子会社であるMadico, Inc.の事業構造改善引当金繰入額925百万円を特別損失として計上しましたが、平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年5月8日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,060	44,431
受取手形及び売掛金	66,801	66,523
たな卸資産	34,584	35,252
その他	5,117	5,044
貸倒引当金	△114	△112
流動資産合計	151,449	151,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,397	30,944
機械装置及び運搬具（純額）	27,293	26,134
土地	11,057	11,041
建設仮勘定	2,163	2,734
その他（純額）	1,958	1,916
有形固定資産合計	73,871	72,771
無形固定資産		
のれん	34,558	32,541
その他	4,000	3,774
無形固定資産合計	38,559	36,316
投資その他の資産		
その他	10,423	9,930
貸倒引当金	△105	△105
投資その他の資産合計	10,318	9,825
固定資産合計	122,749	118,913
資産合計	274,199	270,053

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,057	45,375
短期借入金	641	2,030
1年内返済予定の長期借入金	3,051	3,049
未払法人税等	3,098	1,631
役員賞与引当金	90	23
事業構造改善引当金	—	919
その他	12,460	10,436
流動負債合計	64,401	63,465
固定負債		
長期借入金	17,795	16,242
環境対策引当金	135	133
退職給付に係る負債	12,362	12,377
その他	814	415
固定負債合計	31,107	29,168
負債合計	95,508	92,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,201	23,201
資本剰余金	26,829	26,829
利益剰余金	131,247	131,582
自己株式	△7,714	△7,714
株主資本合計	173,563	173,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	775	520
為替換算調整勘定	6,938	5,586
退職給付に係る調整累計額	△3,392	△3,360
その他の包括利益累計額合計	4,320	2,746
新株予約権	186	186
非支配株主持分	619	588
純資産合計	178,690	177,419
負債純資産合計	274,199	270,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	48,415	60,705
売上原価	36,095	45,236
売上総利益	12,319	15,469
販売費及び一般管理費	8,598	10,508
営業利益	3,721	4,960
営業外収益		
受取利息	53	38
受取配当金	70	253
固定資産売却益	0	3
受取保険金	126	8
その他	81	84
営業外収益合計	332	389
営業外費用		
支払利息	2	62
固定資産除却損	297	70
為替差損	844	361
支払補償費	48	3
その他	43	54
営業外費用合計	1,236	552
経常利益	2,817	4,798
特別利益		
投資有価証券売却益	—	342
固定資産売却益	121	—
特別利益合計	121	342
特別損失		
事業構造改善引当金繰入額	—	925
特別損失合計	—	925
税金等調整前四半期純利益	2,939	4,215
法人税、住民税及び事業税	335	990
法人税等調整額	537	531
法人税等合計	872	1,522
四半期純利益	2,066	2,692
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△46	△23
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,112	2,715

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	2,066	2,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122	△254
為替換算調整勘定	△2,587	△1,360
退職給付に係る調整額	70	32
その他の包括利益合計	△2,639	△1,582
四半期包括利益	△573	1,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△496	1,140
非支配株主に係る四半期包括利益	△77	△31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,530	18,852	9,032	48,415	—	48,415
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9	13	3,482	3,505	△3,505	—
計	20,539	18,866	12,514	51,920	△3,505	48,415
セグメント利益	644	1,952	1,087	3,684	37	3,721

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷材・産 業工材関連	電子・光学 関連	洋紙・加工 材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,136	21,034	9,534	60,705	—	60,705
セグメント間の 内部売上高又は振替高	15	20	3,758	3,794	△3,794	—
計	30,151	21,055	13,293	64,500	△3,794	60,705
セグメント利益	688	2,826	1,452	4,967	△6	4,960

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。